2022 年度 神奈川県精神障害者家族住民交流事業
事業報告書

1、事業名：　第 48 回　精神保健福祉「県民の集い」
2、日　時：　2022 年 11 月 13 日（日）　13：00～16：00
3、会　場：　藤沢市鵠沼東 8 番 1 号　　藤沢市民会館　小ホール
4、内　容：*開会式典
*映画上映　「ふたり～あなたという光」
*シンポジウム
「精神疾患のある家族をケアする
『ヤングケアラー』を考える」
基調講演　　澁谷智子氏（成蹊大学教授）
パネリスト　坂本　拓氏（こどもぴあ代表）
パネリスト　片山睦彦氏（藤沢市地域共生社会推進室）
コーディネーター　竹村雅夫（藤沢ひまわり会）

5、参加者：　143 名
県内精神障害者家族会、当事者、関連機関、団体、一般市民

6、その他
式典では、当会理事長の挨拶の後、藤沢市・市長鈴木恒夫様、神奈川県福祉こどもみらい局福祉部障害福祉課・課長鳥井健二様、神奈川県精神保健福祉センター・所長山田正夫様のご挨拶をいただきました。
ご来賓の皆様は県行政機関及び関連団体から 8 名のご出席をいただきました。
講演にも最後までおのこりいただきまして大変感謝申し上げます。
藤沢市をはじめ関係者のご協力を頂き、無事終了する事ができましたことを感謝しご報告いたします。

7、事業の成果
今年度の「県民の集い」のテーマは『精神疾患のある家族をケアする「ヤングケアラー」を考える』としました。藤沢市では 2004 年(平成 4 年)に続き 2 度目の開催にあたり、藤沢市でないと発表できないテーマとして「ヤングケアラー」を選びました。
ヤングケアラー調査は、2016 年に大都市圏で初めて藤沢市の公立小・中学校・特別支援学校の全 55 校で、教育委員会により行われ、その後、埼玉県での公立高校調査から文科省・厚労省による全国調査に繋がりました。
ところがこれらの調査には当初、小学校が入っておりません。その後も小学校は充分な調査が行われていません。
今回のシンポジュウムは、ヤングケアラーの先進国イギリスの定義でも、5 歳から 11 歳としております。
今回議論された藤沢市の調査は、年齢に合わないケア労働として、その重要性が、今後の政策課題として議論を呼ぶことと思われます。